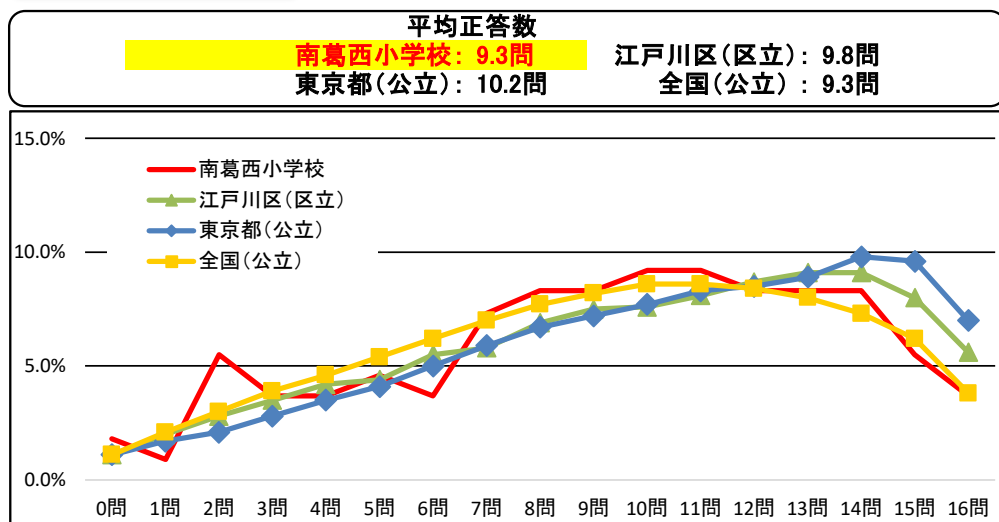


令和7年度全国学力・学習状況調査 結果分析表【算数】 南葛西小学校

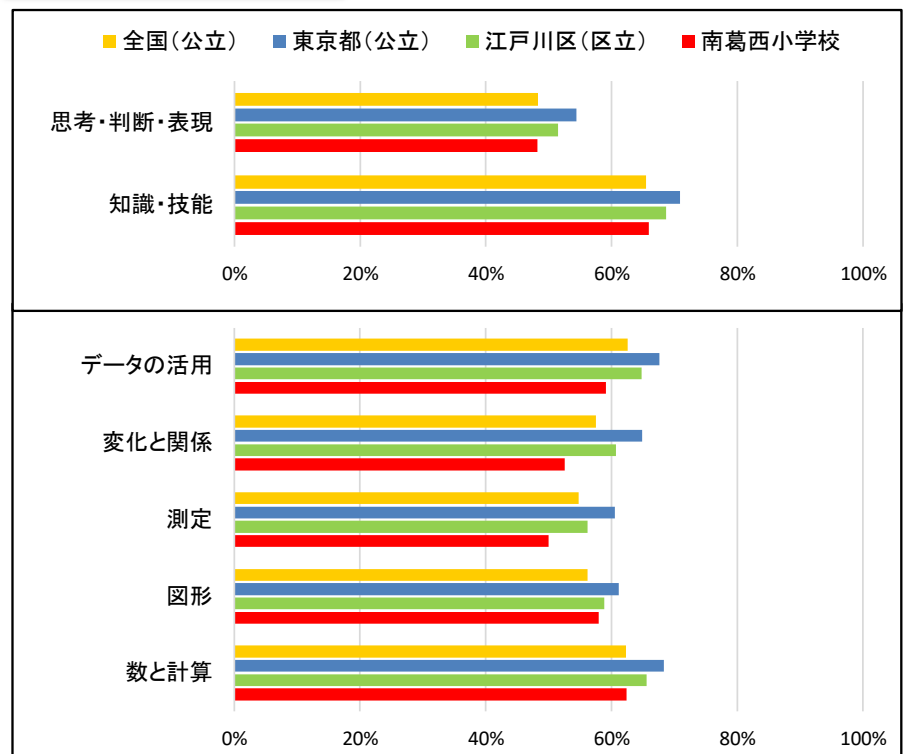
正答数分布



【平均正答率の差】

南葛西小学校	58%
江戸川区(区立)	61%
東京都(公立)	64%
全国(公立)	58%
都との差(ポイント)	-6.0

「領域別」の結果

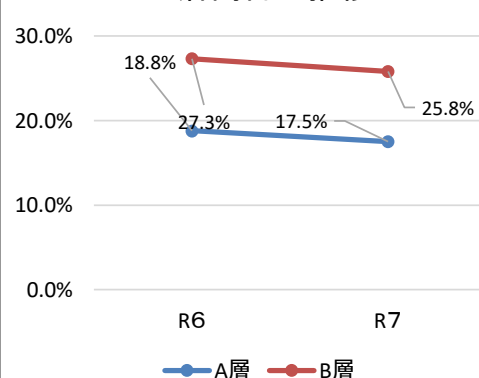


四分位における割合（都全体の四分位による）

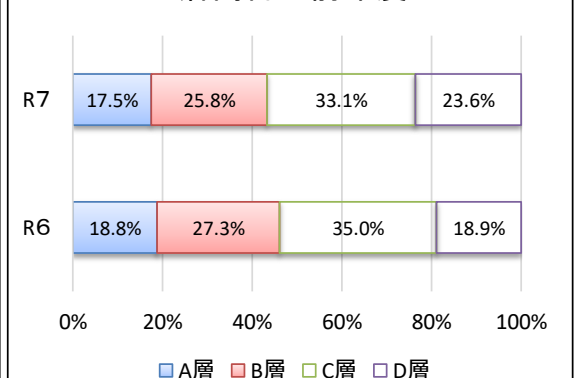
算数	上位 ← 下位			
	A層 14～16問	B層 11～13問	C層 7～10問	D層 0～6問
南葛西小学校	17.5%	25.8%	33.1%	23.6%
江戸川区(区立)	22.7%	25.9%	27.9%	23.5%
東京都(公立)	26.4%	25.7%	27.6%	20.3%
全国(公立)	17.3%	25.0%	31.4%	26.3%

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、児童数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。上の表では、四分位によって児童をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の児童の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都(公立)のデータを基に定めている。

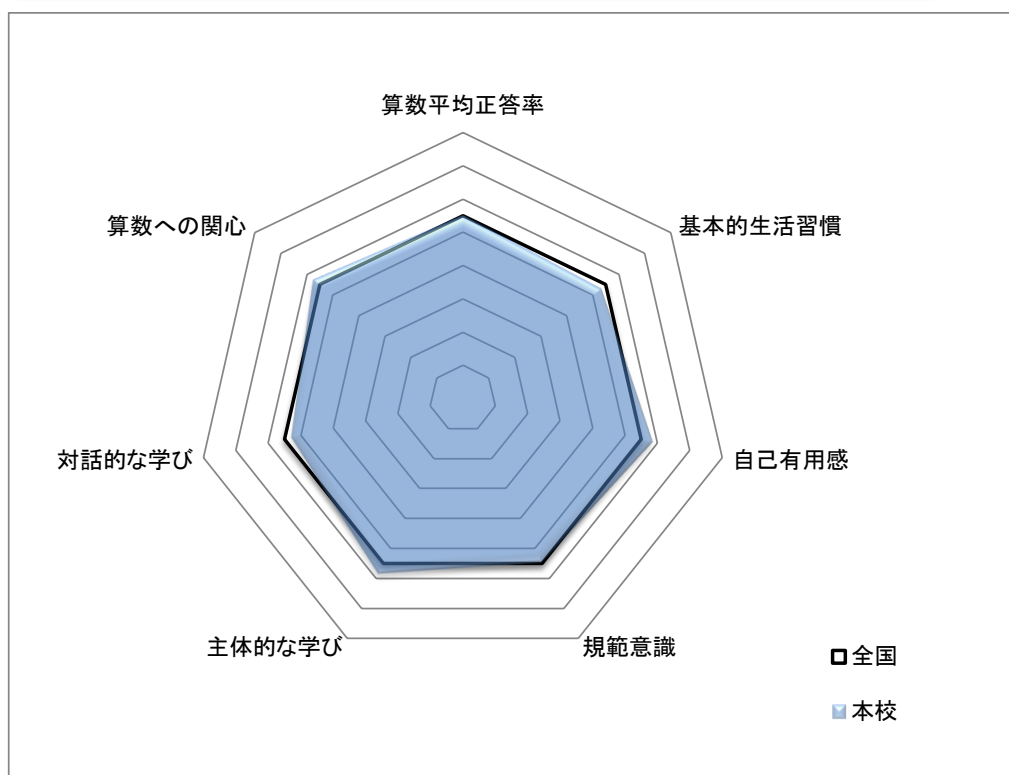
AB層割合の推移



AB層割合の前年度比



各領域における、全国平均正答率及び、全国の肯定的回答合計値を基準とした場合の、本校の様子。



《チャートの特徴》

- 算数平均正答率は全国平均正答率と同等であるが、領域によって定着に差が見られる。
- 算数への関心については全国平均回答率をやや上回っている。
- 主体的な学習の項目においては、全国平均回答率をやや上回っているが、対話的な学習の項目においては全国平均回答率を下回っており課題がみられる。
- 基本的な生活習慣の項目は全国平均回答率を下回っており課題がみられる。自己有用感の項目では、全国平均回答率を上回っている。

《家庭・地域への働きかけ》

- 年度初めに家庭学習の手引きを配布し、家庭での学習習慣が確立できるよう働きかける。
- 学期ごとに1週間、江戸川っ子study week!を設定し、家庭でのドリルパークの学習機会の確立を図る。
- 生活リズムウィークを学期の初めに年3回実施し、家庭と連携して基本的な生活習慣の定着につなげる。

《現状把握》

●AB層の割合と取組内容について

- 全国平均と比較してAB層の割合は高いが、R6の本校の割合からは減少している。AB層合わせて50%を下回っており、基礎基本の事項の定着ができていない児童が多数いることが分かる。
- 授業では一人一人に基礎基本の事項の定着が図れるよう意識して指導をしてきた。既習事項を活用して考えるという部分において弱い児童が多いため、すぐに活用することができるよう既習事項の掲示物を作成するなどの工夫も行った。
- 授業内でのペア活動やグループ活動などの協働的な学習を通して、「できた！わかった！！楽しい！！！」と児童に味わわせ、学習意欲の向上につなげた。
- 夏休み明けに算数コンテストを全学年で行い、算数の学習への意欲付けを行った。

《学校の取組》

・教員の指導力向上

- 校内研究を通し、全学年「自分の考えをもち、伝え合う児童の育成」をテーマに、問題解決学習を追究し、指導力向上を図っている。また、毎回の授業で問題解決学習を取り入れることで、主体的に学ぶ児童の育成を図る。
- 学習スタンダード9つの約束を全教員が児童に徹底させ規律のある授業を行う。また、学力向上委員会を中心となって毎月の各学年の達成度を振り返っている。
- 江戸川区授業スタンダードの徹底を図り、誰にでも分かりやすい授業を展開する。
- 全校で共通のめあてカードやまとめカードを使い、誰が見ても分かる板書をしている。
- 全学年で習熟度別を実施し、より質の高い授業を展開する。

・基礎学力の保障

- 週に1度、全学年で一斉に算数の学習に取り組むマッスルタイムを設定している。前学年までの既習事項の復習を中心に取り組み、基礎的な知識を確実に定着できるようにしている。
- 毎週火曜日に算数の補習時間を設定し、OD層を中心に基礎学力の定着を図っている。
- 週に1回、4～6年生は民間企業による放課後補習教室を実施している。
- 学習カルテを活用し、個に応じた基礎学力の保障ができるようにしている。

・学習習慣の確立

- 年度初めに家庭学習の手引きを配布し、家庭での学習の習慣が確立できるようにしている。
- 学期ごとに1週間、江戸川っ子study week!を設定しドリルパークの課題に取り組み、日頃からドリルパークを活用できるよう図っている。

・AB層の育成

- 算数では習熟度別に授業を展開している。AB層のクラスでは、基礎的な課題だけでなくより発展的な課題にも取り組めるようにしている。
- 個に応じた学習ができるよう授業展開を工夫するとともに、授業で使うワークシートも自分のレベルに応じたものが選択できるようにしている。
- 問題解決学習を徹底し、自力解決を図るとともに自分の言葉で説明する力を養えるようにしている。